

2025-05

柏市

その他

作品タイトル

歩いて測るぼくの道 ～伊能忠敬式測量で地図を作る～

解説

第26回いばらき児童生徒地図作品展優秀賞受賞。この作品は、歴史上の偉人である伊能忠敬の測量技術を実際に体験し、科学的なアプローチで地図作成に挑戦した意欲的な取り組みです。動機・目的から考察まで研究の流れが明確で、とくに身近な道具であるカメラを活用した測量方法の工夫がすばらしく、中学生らしい創意工夫が随所にみられます。実際の地図との誤差を約9メートルにおさえた測量制度の高さは驚嘆に値し、さらに測定方法による際の分析や改善点への言及など、考察の深さも評価できます。レイアウトも見やすく構成され、歴史と科学を融合させた学習への真摯な姿勢が伝わります。

制作者

茗溪学園中学校 2年 星野 禮

制作者による紹介

伊能忠敬記念館を訪れたことをきっかけに、伊能忠敬の測量方法で自分の町を測ったらどれほど正確にできるのかと思い、このテーマを選びました。実際に歩数や角度を測る作業は想像以上に大変で、特に坂の角度を測るのに苦労しました。そこで、縄跳びなど身近な道具を使って距離を比べる工夫をしながら測量を進めました。結果の地図を見ている人にもわかりやすいように書いたのでそこにも注目してほしいです。